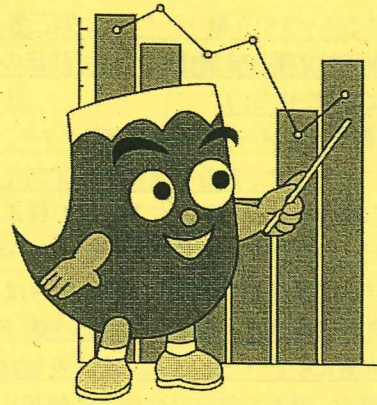


第72回

静岡県統計グラフコンクール

作品募集要領



主催 静岡県教育研究会

静岡県統計協会

後援 静岡県教育委員会
一般財団法人 静岡県教育会館
静岡県私学協会
テレビ静岡
株式会社杏林堂薬局
タキスポーツショップ

一般社団法人 静岡県出版文化会
公益財団法人 統計情報研究開発センター
静岡第一テレビ
中日新聞東海本社
株式会社コサウエル
タリーズコーヒー富士市中央公園店

1 目的

統計知識の普及と統計の表現技術の研さんに資するため、県内の小学生、中学生、高校生、大学生及び一般から統計グラフを募集します。

2 対象

県内に在住、または通学・通勤する小・中学生、高等学校以上の生徒、学生及び一般

3 募集内容

統計グラフ

4 募集区分

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| (1) 第1部(小学校1年生～2年生) | (4) 第4部(中学生の手描きの部) |
| (2) 第2部(小学校3年生～4年生) | (5) 第5部(小中学生のPCの部) |
| (3) 第3部(小学校5年生～6年生) | (6) 第6部(高校生以上の手描き・PCの部) |

5 テーマ

テーマは各部とも自由です。ただし、小学校4年生以下は、児童が自ら観察又は調査した結果をグラフにしたものとします。

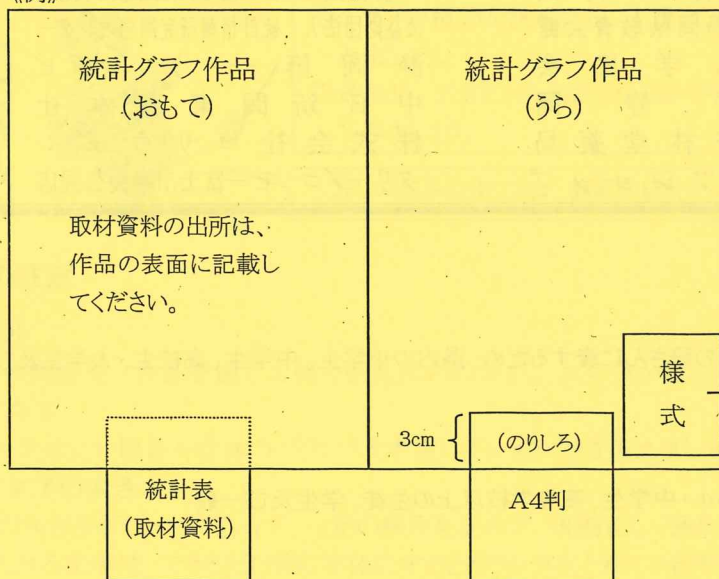
6 応募作品の規格等 ※規格外の作品は審査の対象外となります。

- 規格 各部とも、72.8 cm×51.5 cm (B2判) ※用紙は貼り合わせでも B2 判であれば可。
- 紙質・色彩 紙質・色彩(単色にでも可)は自由です。ただし、裏面の板張り(パネル仕上げ)や表面のセロハンカバーなどは認められません。
切紙や折り紙をのり付けする場合は、はがれ落ちることのないように十分注意してください。
- 応募点数等 1人の応募点数は制限しませんが、2枚以上にわたる「シリーズもの」は認められません。
- 合作の人数 1作品について、5人以内とします。

7 応募上の注意

- (1) 応募作品は、自分で創作したものに限りません。
- (2) ゆるキャラや五輪マークなど、第三者(応募者以外の者をいいます。)が作成したイラストや写真等を使った作品は応募できません。(利用許諾の有無にかかわらず、第三者が作成した著作物の全部又は一部の使用はできません。)
<例>アニメ・漫画のキャラクター、商品のロゴ、企業名、市販のキャラクターシールなどの使用はできません。また、自分で描いたものでも、使用できません。
- (3) 応募作品には、裏面右下に次の様式(任意の様式でも可)により、市町名・学校名・学年・氏名・作品名を明記してください。なお、学校名・氏名・作品名は、必ずふりがなを付けてください。(《例》参照)
- (4) 自己の観察又は調査によった場合は、その観察又は調査の記録を別紙として付けてください。
- (5) 自己の観察又は調査によらないで、外から資料を得た場合は、その取材資料の出所を作品表面の適宜の位置に明記するとともに、統計表(取材資料)を別紙として付けてください。
- (6) 観察、調査の記録又は作品に使用した統計表(取材資料)は、A4判の用紙に記載し、作品の裏面下部に3cmの「のりしろ」で次の例のように貼り付けてください。
 なお、統計表(取材資料)が3枚以上になる場合には、表に県及び市町名、応募する部名、学校名、氏名を記載したA4判の封筒に入れて、作品には貼り付けずに提出してください。

《例》



様式(任意の様式でも可)

作品名 ふりがな	氏名 ふりがな	学年	学校名 ふりがな	市町名
統計ってすごい! とうけい	静岡太郎	6年	静岡市立〇〇小学校	静岡市

*様式の内容を満たしていれば、任意の様式でも可

- (7) グラフ部分をパソコンで作成したものは、第5部または第6部として応募してください。
- (8) 作品は二つ折にしたり、筒型に丸めたりせずに、そのままの形で送付してください。

8 応募方法

- (1) 市町立小・中学校の場合
 各学校は、児童生徒の作成した統計グラフを取りまとめ、管内の市町教育委員会等の指示により提出してください。各市町教育委員会等は、各学校から提出された統計グラフを選出し、静岡県教育研究会事務局(〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-12 静岡県教育会館2階)まで送付してください。
- (2) 国立小・中・高等学校・特別支援学校、県立中・高等学校・特別支援学校、市立高等学校
 私立小・中学校、高等学校・特別支援学校の場合
 各学校は、児童生徒の作成した統計グラフを取りまとめ、静岡県統計協会(〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6 静岡県データ活用推進課内)まで送付してください。
- (3) 上記(1)、(2)以外の場合
 静岡県統計協会(〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6 静岡県データ活用推進課内)まで送付してください。

9 選出

各市町教育委員会等は、「11. 審査基準」に従って、下記のとおり選出してください。
 また、静岡県統計協会取りまとめ分についても同様とします。

小学校	応募総数の15%以内(端数切り上げ)
中学校	応募総数の15%以内(端数切り上げ)

※ 左記の割合は目安です。

10 締め切り

<市町立小・中学校>

学 校 → 令和6年8月30日(金) 市町(教育委員会等)

<国立小・中・高等学校・特別支援学校、県立中・高等学校・特別支援学校
市立高等学校及び私立小・中・高等学校・特別支援学校>

学 校 → 令和6年8月30日(金) 静岡県統計協会

一般・その他 → 令和6年8月30日(金) 静岡県統計協会

令和6年9月5日(木) 必着

静岡県教育研究会

11 審査基準 ※第72回統計グラフ全国コンクール募集要領に準拠

(1) 共通基準

① 誤りはないか

目盛り、単位の取り方、文字・数字、脱字、応募区分誤り、記入漏れ(基軸線(0線)など)など。

② 書き落としはないか

資料の出所、観察・調査の方法。

③ 的確か

見出し(タイトル)の表現、配色。

(2) 各部別基準

◆第1部、第2部

・子どもらしい身近なテーマをとらえ、それにふさわしい観察・調査をし、グラフに表しているか。

◆第3部～第6部

・統計データを正しく理解して、グラフ化することによってデータの持つ事象が理解されやすくなるよう工夫されているか。訴えたいテーマが的確にグラフに表れているか。また、テーマは興味を喚起するものであるか。第5部・第6部(手描き除く)では、パソコンの機能を十分に活用しているか。

12 入賞区分

特別賞 [県知事賞・県教育委員会教育長賞・県統計協会会長賞・県教育研究会会長賞・県出版文化会
理事長賞・県教育会館理事長賞] 各賞とも各部1点以内

奨励賞 各部概ね1点

入 選 12点程度 佳作 54点程度

努力賞 300点程度 学校賞 6校以内

各賞とも、賞状及び副賞を贈呈します。

13 発表、表彰及び作品展示

(1) 発表 令和6年9月下旬に、本人又は学校あてに通知します。

(2) 表彰 特別賞及び奨励賞作品は、静岡県統計功労者表彰式(令和6年11月下旬開催予定)において表彰します。

(3) 作品展示 特別賞及び奨励賞作品は、優秀作品展示会及びインターネットにおいて一般公開します。

14 募集要領

募集要領は、静岡県統計情報ホームページ「統計センターしずおか」内の、キッズページ「グラフ博士のとう
けい工場」(<https://toukei.pref.shizuoka.jp/kids/index.html>)に掲載しております。

また、過去の優秀作品や応募作品の詳しい作り方も掲載しているので、ぜひご活用ください。

15 その他

(1) 当コンクール入賞作品で、特に優れている作品は、第72回統計グラフ全国コンクールに出品します。

(2) 作品は、表彰式終了後、各市町教育委員会等に返却します。また、全国コンクールに入選した場合、作品の返却は1年後となりますので、御了承ください。

(3) 当コンクールへの応募をもって、報道提供、統計刊行物への掲載及びインターネットのホームページへの掲載を了承したものとみなします。なお、ホームページでは、作品と市町及び名字のみ掲載します。

(4) 特別賞及び県内報道機関賞作品は、展示会、カレンダー作成等に利用します。著作権は、静岡県及び静岡県統計協会に帰属します。(全国コンクールで特選又は入選を受賞した作品の著作権は、公益財団法人 統計情報研究開発センターに帰属します。)

グラフのまとめ方（例）

1 作成手順

①テーマを決めよう！

自分の好きなこと、興味のあること、ニュースなどで話題になっていることなどからテーマを決めましょう。

②データを集めよう！

決めたテーマについて、調べてみましょう。

☆調べ方

- ・アンケートをとる
- ・観察する
- ・本やインターネットで探す

※小学校1～4年生の作品は、自分で観察・調査したものに限りま

③グラフを作ってみよう！

まず、調べた結果を表に整理してみましょう。

次にどのグラフを使うか考えま

※棒・折れ線・帯グラフには0基点が必要

☆主なグラフの使い分け

◆棒グラフ

量の大小を比較するとき

◆折れ線グラフ

増減など量の変化を表す

◆円グラフ・帯グラフ

割合を表すとき

※学年(学習段階)に応じた

使用しま

※グラフの種類を決めたら、下書き

を

※最後に、グラフから何が

分かるか

④レイアウトを考えよう！

グラフやタイトルなどの位置や配色について考えてみましょう。伝えたいことが分かりやすいレイアウトを

⑤下書きをして、色をぬろう！

レイアウトができたら、本番の紙に下書きをして、色を塗

⑥見直しをしよう！

最後に、見直しを

0基点や単位、出典や使用した資料の時点が書いてあるかや、観察・調査の記録を裏面下に貼ったかなど

キッズページからダウンロードできるチェックシートを使うと、便利



詳しい作品の作り方は、静岡県統計キッズページを見てね！(『グラフ博士』で検索)

2 作成上の注意

(1) タイトル

グラフの内容や、作品を通じて何を伝えたいのかが、よく分かるようなタイトルをつけま

(2) レイアウト

グラフの見せたい順番や全体のバランスを考慮してレイアウトを

(3) 字体・文字の大きさ

- ① 文字の大きさはテーマに沿って、一定の順序を決めて、規則正しく書き入れるように
- ② 書き入れる文字は、できるだけ同じ字体にするとバランスがとれて、見やすくなり

(4) 線の太さ

原則として、棒グラフ、折れ線グラフの基軸線(0線)は太くし、目盛線などのタテ線や

(5) 統計資料の出所

- ① 統計グラフには、その統計のもととなる出所・出典を作品の表面の適当な位置に
- ② インターネットを出典とする場合には、URL(資料のトップページでも可)及びホームページ名を作品表面の適当な位置に

(6) 数値の単位

- ① 数値の単位は必ず書き入れま
- ② 原則として、収集した資料の数値と作品のグラフの表示(数値)は、一致させ

(7) 色彩

- ① 色の種類(色相)、② 色の明るさ(明度)、③ 彩度(色の鮮やかさの程度)の性質をよく考え、コントラスト・配色に気をつけま

お問合せ先

静岡県デジタル戦略局データ活用推進課
静岡市葵区追手町9-6 (TEL 054-221-2298)
datakatsuyou@pref.shizuoka.lg.jp

静岡県統計情報サイト
「統計センターしずおか」

